

正味財産増減計算書内訳表
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息振替額	193,127	0	193,127
受取補助金			
受取補助金	0	195,000	195,000
受取出資金			
受取出資金振替額	400,000	0	400,000
雑収益			
受取利息	388	0	388
経常収益計	593,515	195,000	788,515
(2) 経常費用			
① 事業費	593,515		593,515
入学一時金	400,000		400,000
臨時雇賃金	122,094		122,094
法定福利費	347		347
通信費	3,712		3,712
消耗品費	0		0
口座振替手数料	19,422		19,422
口座振込手数料	47,940		47,940
② 管理費		255,159	255,159
臨時雇賃金		13,566	13,566
法定福利費		39	39
通信費		1,136	1,136
消耗品費		0	0
租税公課		22,000	22,000
支払報酬		187,000	187,000
広告宣伝費		19,440	19,440
会議費		6,302	6,302
雑費		5,676	5,676
経常費用計	593,515	255,159	848,674
当期経常増減額	0	-60,159	-60,159
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度正味財産増減訂正額	106,112		106,112
経常外収益計	106,112	0	106,112
(2) 経常外費用			
貸倒損失	0		0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	106,112	0	106,112
当期一般正味財産増減額	106,112	-60,159	45,953
一般正味財産期首残高			39,226,779
一般正味財産期末残高			39,272,732
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	384,606		384,606
受取寄附金			
受取寄附金	1,000,000		1,000,000
一般正味財産への振替額	-593,127		-593,127
過年度指定正味財産増減訂正額	-106,112		-106,112
当期指定正味財産増減額	685,367		685,367
指定正味財産期首残高			99,465,253
指定正味財産期末残高			100,150,620
III 正味財産期末残高		0	139,423,352

財産目録
令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金	定期預金 岩手銀行	運転資金として	87,042
流動資産合計				87,042
(固定資産)	基本財産	基本財産預金	定期預金	97,058
			普通預金	17,699,694
	投資有価証券	第50回30年利付国債	公益目的保有財産であり、運用益は全て公益目的事業の財源として使用している。	53,777,251
		第51回30年利付国債	公益目的保有財産であり、運用益は全て公益目的事業の財源として使用している。	19,864,826
特定資産	奨学金貸与金	奨学金貸与金	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	26,628,600
	奨学金貸与未収金	償還期日到来後貸与金	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	2,144,800
	奨学金貸与資金	普通預金	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	13,882,847
	奨学金給付資金	普通預金	奨学金の貸与・給付事業の用に供している。	5,400,234
固定資産合計				139,495,310
資産合計				139,582,352
(流動負債)	未払金	会計事務所に対するもの	会計事務所に対するものは法人会計に係るものである。	132,000
	預り金	奨学金貸与終了者	過大償還分	27,000
流動負債合計				159,000
(固定負債)				0
固定負債合計				0
負債合計				159,000
正味財産				139,423,352

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・購入時の取得価額によっている。なお、取得価額と債券金額との差額については、償却原価法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産預金	20,440,784	0	2,644,032	17,796,752
投資有価証券	73,728,671	5,133	91,727	73,642,077
小計	94,169,455	5,133	2,735,759	91,438,829
特定資産				
奨学金貸与金	27,050,200	4,707,000	5,128,600	26,628,600
奨学金貸与未収金	0	2,399,800	255,000	2,144,800
奨学金貸与資金	11,463,500	7,099,347	4,680,000	13,882,847
奨学金給付資金	5,800,179	55	400,000	5,400,234
小計	44,313,879	14,206,202	10,463,600	48,056,481
合計	138,483,334	14,211,335	13,199,359	139,495,310

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産預金	17,796,752	(17,796,752)	()	-
投資有価証券	73,642,077	(73,642,077)	()	-
小計	91,438,829	(91,438,829)	()	-
特定資産				
奨学金貸与金	26,628,600	()	(26,628,600)	()
奨学金貸与資金	13,882,847	(3,311,791)	(10,571,056)	()
奨学金給付資金	5,400,234	(5,400,000)	(234)	()
小計	45,911,681	(8,711,791)	(37,199,890)	(0)
合計	137,350,510	(100,150,620)	(37,199,890)	(0)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第50回30年利付国債	53,777,251	56,514,300	2,737,049
第51回30年利付国債	19,864,826	19,506,000	-358,826
合計	73,642,077	76,020,300	2,378,223

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 岩手育英会運営費 補助事業補助金	盛岡市	0	195,000	195,000	0	一般正味財産
合計		0	195,000	195,000	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益	193,127
出資金	400,000
合 計	593,127

7. その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

平成27年度に給付資金確保のために基本財産取崩し決議を行ったが、給付額を上回る取崩し額2,644,032円を当時の財務諸表に反映させていなかったため、今年度決算より反映(貸与資金の増額)させている。

また、本来指定正味財産とすべき給付資金を一般正味財産として計上していたため、今年度に訂正を行っている。(平成30年度末時点の指定正味財産99,465,253円から、奨学金給付金支給による出資金減少額1,200,000円、一般正味財産への振替額訂正による基本財産運用益増加額1,093,888円、合計106,112円を一般正味財産へ振り替えている。)

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表の注記に記載していることより、内容省略。
2. 引当金の明細
なし